

2016年度環境経営レポート



活動期間

2016年4月～2017年3月

林時計工業株式会社
特品事業部佐貫事業所
及び冷熱システム事業部

2017年6月15日作成

林時計工業 株式会社 会社概要

- ・高輝度冷光照明装置「ルミナーエース」
- ・電動ドライバー「ハイマチック」の製造・販売
- ・細密金型プレス部品の製造、組立、販売。金型製作
- ・電子クーラー（ユニット）の製造・販売、制御装置システムの設計
- ・半導体等製造、電子部品の組立・検査

・林グループ長期方針

林グループ各社の先見性、創造性、協調性を積極的に発揮し時代の変化を先取りする。

・グループ経営理念

1. 常に時代の変化を先見する
2. 常に顧客のニーズに対応する
3. 常に独自の技術を追求する
4. 常に高品質・高信頼の製品を提供する

H29年度経営方針 スローガン

**強い意識改革によって自ら行動し
夢ある100年企業の基盤を創り新世代へつないでいこう**

林時計工業株式会社
本社所在地：東京都豊島区北大塚1-28-3
代表取締役社長：林 茂
資本金：5000万円
(2017年度3月現在)

林グループ環境方針

林グループは環境方針に従い、
全社員一丸となって、環境保全に取り組んで参ります。

※2005年制定

林グループ環境方針

基本理念

林グループは、地域の良き企業市民として企業活動と地球環境との調和を目指し、常に市場に提供する製品の設計、生産、サービス、調達事業活動において、一人一人が環境へのやさしさを優先して行動いたします。

行動指針

1. 環境関連の法規制や協定を遵守し、さらに自主的な環境保全活動を実施します。
2. 環境管理システムを確立し、事業活動が環境に与える影響を把握し、環境汚染の防止や環境負荷低減活動を実施します。
3. 各事業活動において資源・エネルギーの有効利用や廃棄物などのリサイクルを図ります。
4. 環境負荷低減に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
5. 全従業員に環境教育を実施し、環境意識の向上を図り方針に沿った行動を促します。

制定

2005年4月1日

代表取締役社長

木村 厚

認証登録範囲 環境方針

林グループの環境方針に基づき、
地域社会および環境と共生する活動を進めて参ります。

制定2005年

特品事業部佐貫事業所及び冷熱システム事業部環境方針

林時計工業特品事業部佐貫事業所及び冷熱システム事業部では、社長の環境方針に基づき地球環境への負荷低減及び法規制遵守致します。

1. 各事業活動において省エネルギー、合わせてCO2削減に取り組み、地球温暖化抑制に貢献します
2. 廃棄物の削減、リサイクル化に取り組み、処理の負担を軽減します
3. 梱包材、用紙類の使用を削減し、水資源、その他の資源の削減にも努め、限りある資源を有効に活用します
4. 低環境負荷用品を使用し、循環型社会の形成に貢献します
5. 環境配慮型製品の設計を実行し、製品自体の省エネ、有害物質の削減に努め、お客様の環境要望に取り組めます
6. 地域の環境活動に積極的に参加し社会貢献に努めます。

制定2005年9月1日
改訂2006年5月12日
改訂2009年10月7日
改訂2015年6月10日

特品事業部佐貫事業所及び冷熱システム事業部 代表者

山田 雅彦

2016年度人員数

特品事業部	29名
冷熱システム事業部	8名

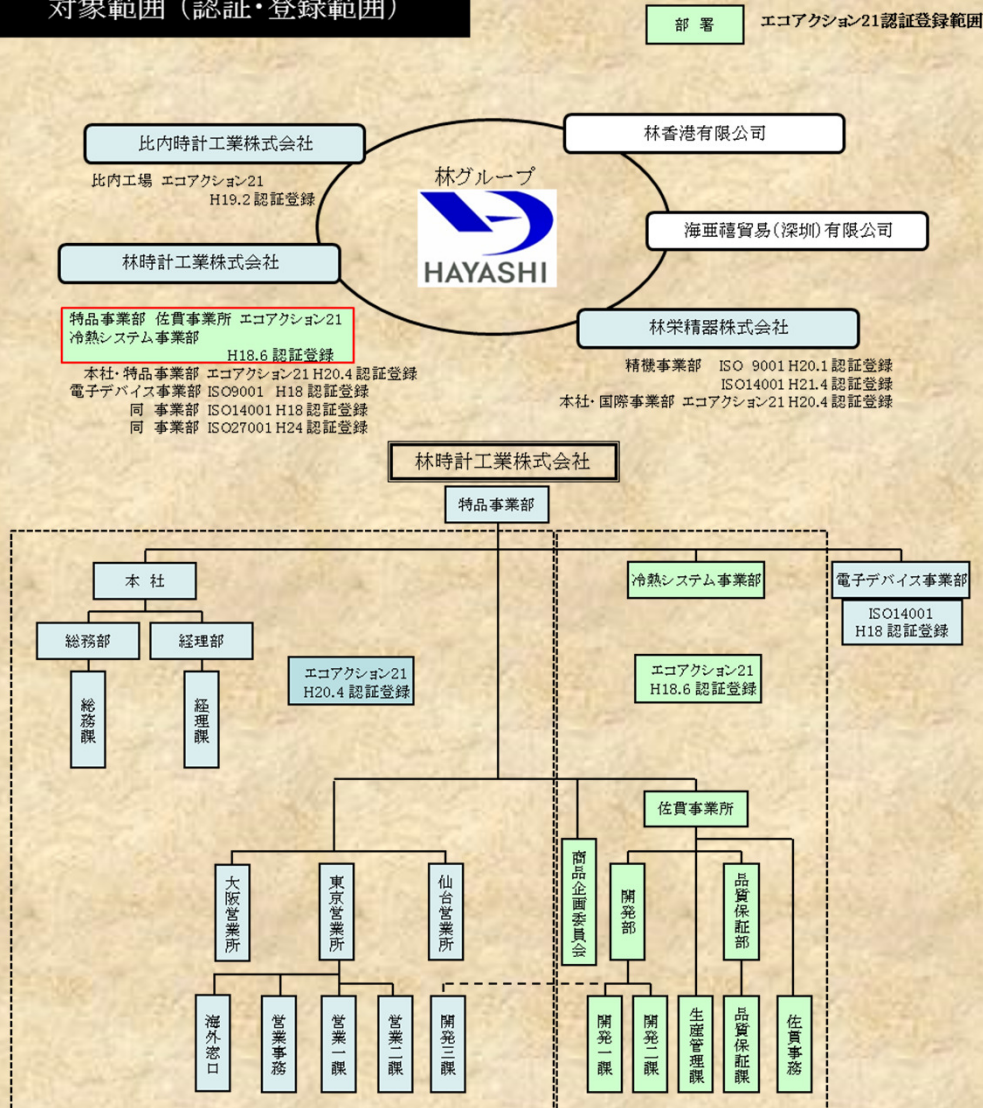
対象組織事業(認証登録範囲)

特品事業部佐貫事業所及び冷熱システム事業部

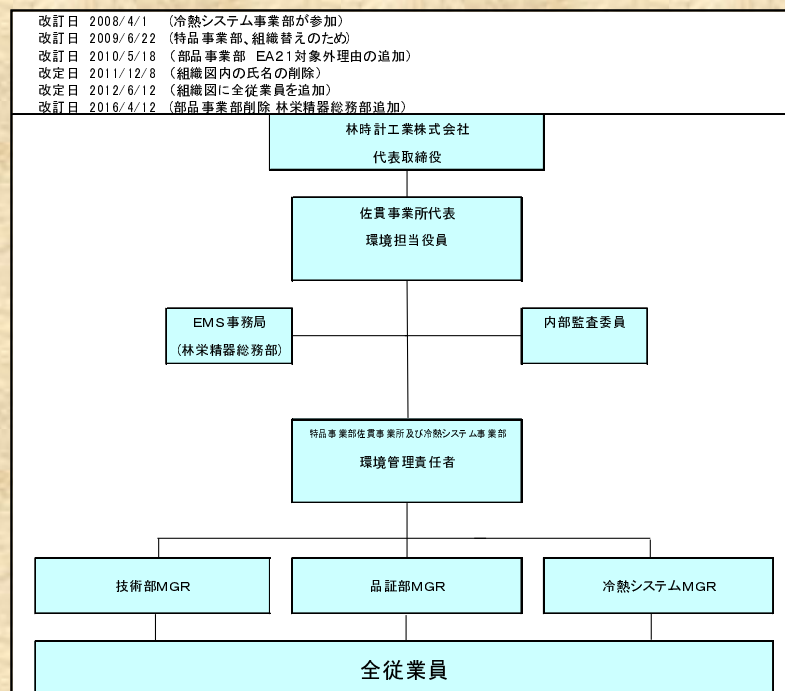
所在地:千葉県富津市佐貫482

ハロゲン照明装置、LED照明装置及び
電動ドライバーの設計・製造・修理、並びに
電子クーラー(ユニット)の設計・製造・販売

対象範囲（認証・登録範囲）



環境経営システム実施体制



特品事業部 事業内容

産業用光源装置及び電動ドライバーの開発



高輝度レーザー光源



低照度コントロール光源



顕微鏡用LED光源

消費電力が少なく長寿命の光源の開発を推進しております。
従来のハロゲンランプを使用した光源に比べ大幅な電力使用量が削減できます。



- 従来のハロゲンランプ
メタルハライドランプ光源装置も販売も行っております。



- 電流制御方式によりトルク値のくり返し安定精度が非常に高いドライバーの開発を行っております。

冷熱システム事業部 事業内容

電子クーラーの開発

電流を流すことにより温度差が発生するペルチェ素子を利用し、環境に負荷を与える冷媒を使用することなく冷却ができます。



- 産業機器、医療機器、分析機器等の冷却、加熱、温度管理に様々な分野で幅広く活躍しております。

有害物質への対応

林時計工業 特品事業部では
カタログ記載製品全てが※欧州RoHS指令6物質の
含有基準を満たしております。
(※2017年3月現在)

•*RoHS指令とは

欧州に輸出する際には有害物質である6物質の含有が禁止されております。

有害6物質

水銀(Hg) 鉛(Pb) 六価クロム(Cr^{6+}) カドミウム(Cd)
ポリ臭化ビフェニル(PBB)
ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE)

- ・特品事業部では従来の鉛を含んでいた鉛ハンダを撤廃し、
全てを鉛フリーハンダへ移行しております。
- ・メッキに使用されていた六価クロムは全て撤廃しております。
- ・真鍮に含まれるカドミウムは全て低カドミウムタイプです。



鉛はんだ混入を防ぐために
はんだごてに鉛フリーはんだ用の
識別シールを貼って管理しております。
製造段階においてオゾン層破壊物質等の
使用はございません。

欧州RoHS有害物質が追加されました。

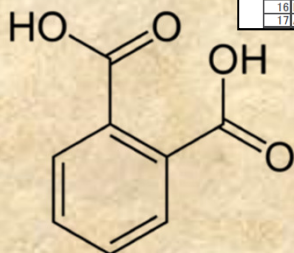
RoHS2 有害4物質 フタル酸エステル DIBP DEHP DBP BBP

有害物質の法規制は常に最新版になるようチェックしております。
部品一つ一つを調査し、新しいRoHSにも対応して参ります。

REACH規則にも対応して参ります。
SVHCの対応も開始しております。

欧州REACH規則 高懸念物質(SVHC)一覧表

No.	Substance name (物質名)	参考和名	EC Number (EC番号)	CAS Number (CAS番号)
1	Sodium dichromate	ニクロム酸ナトリウム (別名: 重クロム酸ナトリウム)	234-190-3	7789-12-0, 10588-01-9
2	5-tert-butyl-2,4,6-trinitro-m-xylene (musk xylene)	2, 4, 6-tert-ブチロ-5-ニトロフェル-1, 3-キシレン (別名: ムスクキシレン)	201-329-4	81-15-2
3	4,4'-Diaminodiphenylmethane (MDA)	4, 4'-メチレンジアニリン (略称: MDA) (別名: 4, 4'-ジアミノフェニルメタン)	202-974-4	101-77-9
4	Bis(tributyltin)oxide (TBTO)	ビス(トリブチルスズ)酸化物 (略称: TBTO)	200-268-0	56-35-9
5	Triethyl arsenate	トリエチルヒ素酸	427-700-2	15606-95-8
6	Dibutyl phthalate (DBP)	フタル酸ジブチル (別名: ジブチルフタレート) (略称: DBP)	201-557-4	84-74-2
7	Diarsenic trioxide	三酸化二ヒ素	215-481-4	1327-53-3
8	Anthracene	アントラセン	204-371-1	120-12-7
9	Alkanes, C10-13, chloro (Short Chain Chlorinated Paraffins)	短鎖型塩素化パラフィン(炭素数10~13のもの)	287-476-5	85535-84-8
10	Lead hydrogen arsenate	ヒ素酸鉛 (別名: ヒ化水素酸鉛)	232-064-2	7784-40-9
11	Benzyl butyl phthalate (BBP)	フタル酸ベンジルブチル (別名: ベンジルブチルフタレート) (略称: BBP)	201-622-7	85-68-7
12	Hexabromocyclododecane (HBCDD) and all major diastereoisomers identified: Alpha-hexabromocyclododecane Beta-hexabromocyclododecane Gamma-hexabromocyclododecane	ヘキサブロモシクロドデカン (略称: HBCDD, HBCD)	247-148-4 and 221-695-9	25637-99-4, 3194-55-9 (134237-50-6) (134237-51-7) (134237-52-8)
13	Diarsenic pentaoxide	五酸化二ヒ素	215-116-9	1303-28-2
14	Bis (2-ethylhexyl)phthalate (DEHP)	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (別名: ジエチルヘキシルフタレート) (略称: DEHP)	204-211-0	117-81-7
15	Lead chromate molybdate sulphate red (C.I. Pigment Red 104)	硫酸モリブデン酸クロム酸鉛 (別名: モリブデン赤) (別名: C. I. ピグメントレッド104)	235-759-9	12656-85-8
16	Lead chromate	クロム酸鉛	231-846-0	7758-97-6
17	Anthracene oil, anthracene-low	アントラセン油、アントラセン低濃度分	292-604-8	90640-82-7



・SVHC抜粋

REACH規則 : EU内で製品を流通させるには、製品を構成する部品の材料を調べ、
情報を登録する必要がある。2007年6月1日より実施

SVHC : 特定化学物質として**認可登録候補**にあがっており、このリストから制限物質が選定される。

法規制遵守状況

区分	適用法	コメント	該当する設備・活動・洗剤名・成分	管理作業・必要な資格・年間使用量	法令最新改定日	特品	冷熱
						適合状況	
環境	生物多様性基本法		地域環境に与える影響を把握		平成20年6月6日	○	○
	自動車排気ガスの許容限度	車検満足	車両	量規制は車検制度	平成18年11月1日	○	○
	特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	05.12全廃	HCFC225、05.12月全廃	2020年HCFC全廃	平成26年6月13日	○	○
	フロン排出抑制法	3年に一回の保守点検が必要	エアコン交換の際には適切に回収している、監視測定シートにて記載	第一種フロン(エアコン用)をみだりに大気中へ放出してはならない	平成27年4月1日	○	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	林時計は特定排出者コード985704176、現在排出量が越えてないので届出義務はなし。	事業所ごとのCO2、CH4、N2O、HFC、PFC、SF6など年間温室ガス排出量と従業員数	温室ガス排出量算出、CO2換算で3000t以下かつ21人以上の事業所があれば林時計全体で本社から提出義務あり。(H21年度分より)	平成26年5月27日	○	○
車両	道路交通法		車両	車庫証明	平成27年6月17日	○	○
	アイドリングストップ(条例)		車両を停止したときはエンジンをストップすること	千葉県・東京都等条例で規制されている	平成27年6月24日	○	○
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	05.9より契約、マニフェスト管理実施	廃油／汚泥／金属くず・配送業者・処理業者との契約管理	マニフェスト管理	平成27年7月17日	○	○
	家電リサイクル法		ブラウン管式TV、冷蔵庫、洗濯機、エアコン	廃家電品の適切な引き渡しと支払い	平成10年6月5日	○	○
	小型家電リサイクル法		不要パソコン、OA機器	パソコン・OA機器の適切な引き渡しと回収再資源化料金の負担	平成10年6月5日	○	○
	自動車リサイクル法		社有車	使用済自動車は引取業者に引き渡す	平成26年6月13日	○	○
労働安全	労働安全衛生法		タバコの分煙 ストレスチェックの義務化		平成26年6月25日	○	○
	安全衛生法 危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施		安全衛生委員会が、毎月事業所内を巡回し、危険性等の調査、必要な措置を行っている。	労働災害発生防止のため、設備、原材料や作業の危険・有害性調査を行い、必要な措置を実施する努力義務	平成27年5月7日	○	○
	安全衛生法 安全管理者の資格要件の見直し		安全管理者の資格	安全管理者は、厚生労働大臣が定める研修を受けた者を選任(H18.10.1現在経験2年未満の者も研修義務)	平成27年5月7日	○	○
	安全衛生法 安全管理体制の強化		毎月安全衛生委員会が開かれ、右記の件も含め事業所の安全衛生に関するの審議がおこなわれている。	安全衛生委員会での調査審議項目が追加。 危険性・有害性等の調査及び措置/安全衛生に関する計画、実施、評価及び改善/長時間労働による健康障害防止対策/精神的健康の保持増進対策	平成27年5月7日	○	○
顧客要求	RoHS2	顧客適合要求品種 2011年4月生産分適合化	LED照明、ルミナーエース	2011年7月EU加盟国上市化合物6物質→10物質	平成23年7月1日	○	○
	REACH	REACH規制 現在SVCH173物質の使用はなし	LED照明、ルミナーエース	年間 1t以上 EU加盟国に輸出する際、含有する化学物質の情報公開	平成29年1月12日	○	○
	グリーン購入法		紙・文具・機器・家電・照明・自動車・服・作業手袋・設備等	出来る限り環境物品等を選択する	平成27年9月11日	○	○

年2回の環境法規制の体制
改訂情報をエコアクション事務局及び
総務部にて相互に確認しております。

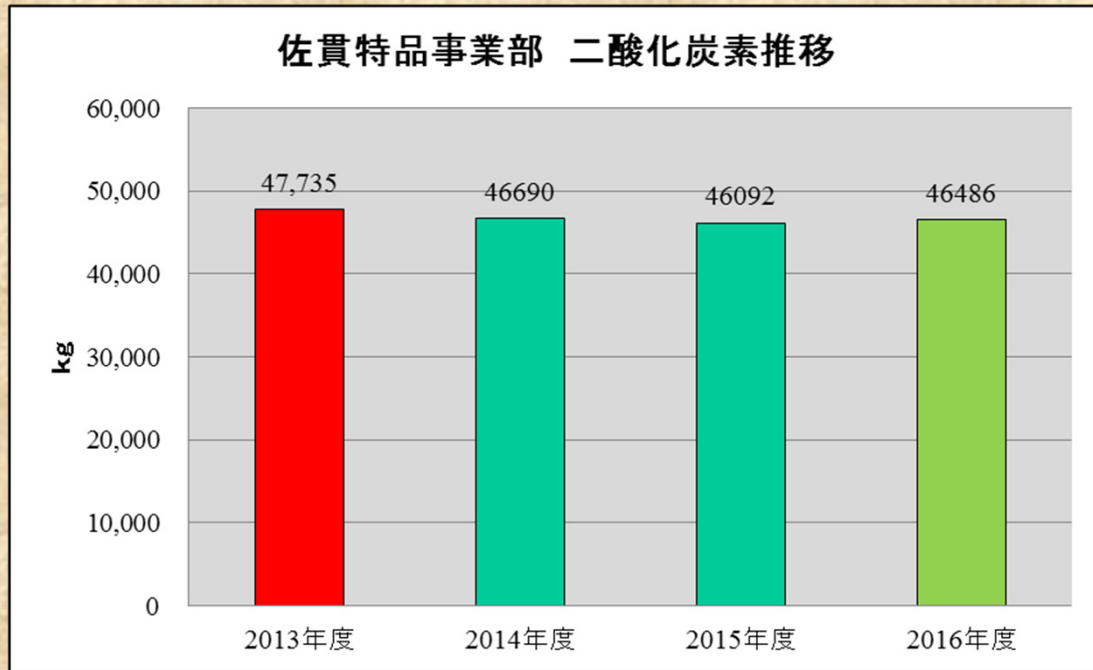
環境関連法規への違反はありません。
関係当局よりの違反等の
指摘は、過去3年間ございませんでした。

2016年度環境活動達成状況

取組項目	施策(16年度)	目標	結果	◎達成 ○ほぼ達成 ×未達成
CO2削減	不使用時、不要場所、昼休み時間の 消灯 、事務室空調温度設定 冷房 28℃・暖房20℃ 例)特品18:00	2013年比 0% 一人当たり 1773kg/人	総量 46486kg -2.6%	◎
			一人当たり 1603kg/人 -9.6%	
電力削減		2013年比 0% 生産台数当たり 3.01kwh/台	総量 122091kwh -1.8%	◎
			生産台数 当り 1.02kwh/台 -66.1%	
一般廃棄物	分別処理 徹底、特に紙の分別を行 う。 生産数・人員あたりの数値も算出	2013年比 0% 一人当たり 49.27kg/人	総量 1.91t 44%	×
			一人当たり 65.87kg/人 33.7%	
節水	洗面所、トイレ等に節水の 張り紙 を 行う。	2013年比 0% 一人当たり 16.2t/人	総量 1576t -28.0%	◎
			一人当たり 14.1t/人 -13.2%	
紙類使用削減	両面 使用、 縮小 使用、印刷プレ ビューで印刷ミス削減、情報交換の 電子化 、管理方法	2013年比 0% 生産台数当たり 2.41枚/台	総数 83500枚 -14.4%	◎
			生産台数 当り 0.70枚/台 -71.1%	
グリーン・エコマークがつ いた事務用品使用推進	低負荷の事務用品があれば優先的 に使用する	70%以上	76.4%	◎
低環境負荷製品の設計	企画書、図面、カタログ資料、取説	2機種の開発	・LP-210 アメリカDOL適合 ・蛍光灯相当のラインLED照明	◎

排出量年間推移

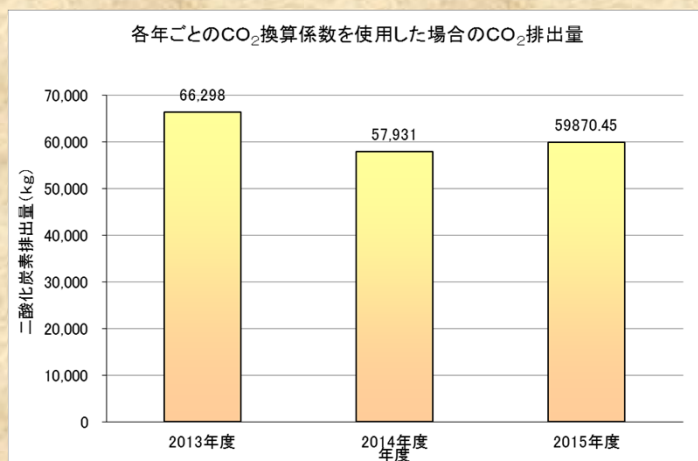
二酸化炭素排出量推移



二酸化炭素は近年、ほぼ横ばいになっております。

※二酸化炭素排出係数は
以下の値を使用

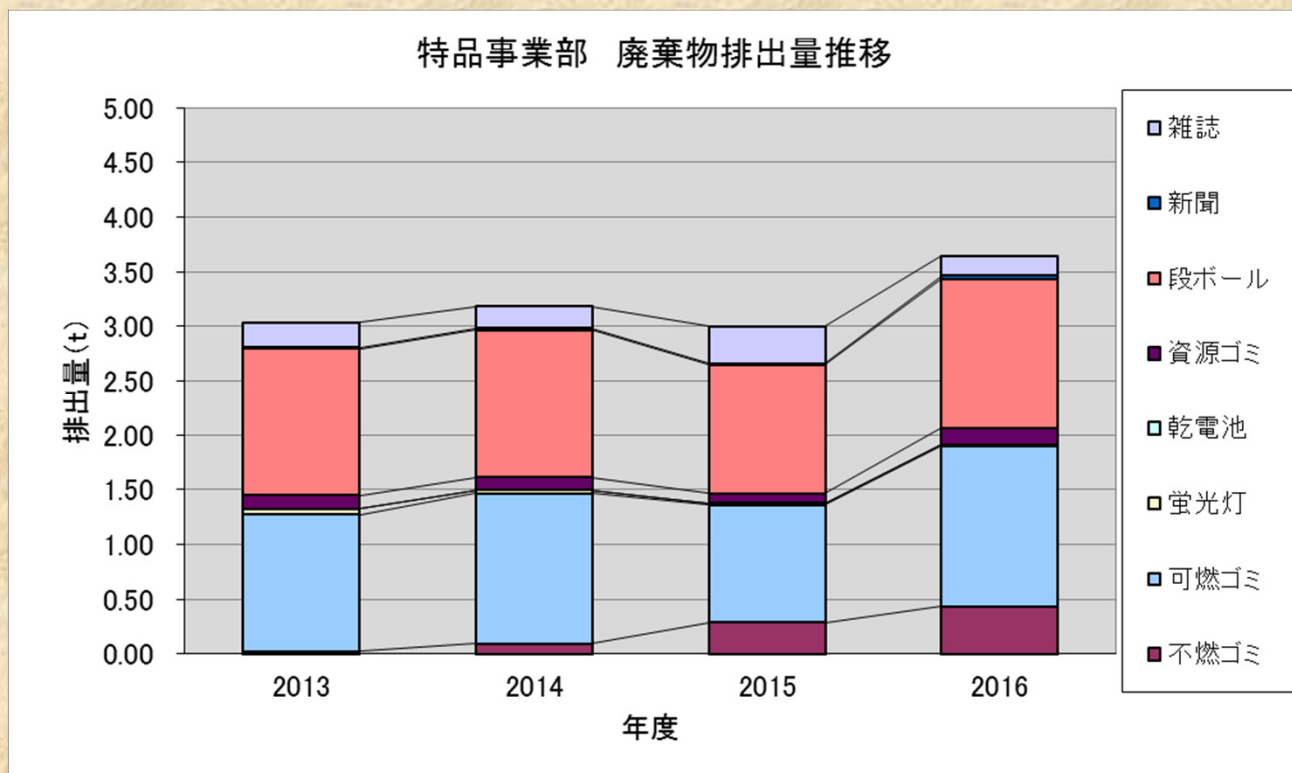
0.378 (kg-CO₂/kWh)



実際の二酸化炭素排出係数を使用すると、
ほぼ一定です。

二酸化炭素の排出源はほぼ電気使用量です。

廃棄物排出量推移



本年度の廃棄物は不燃物、可燃物の増加に伴い全体的に増加した。



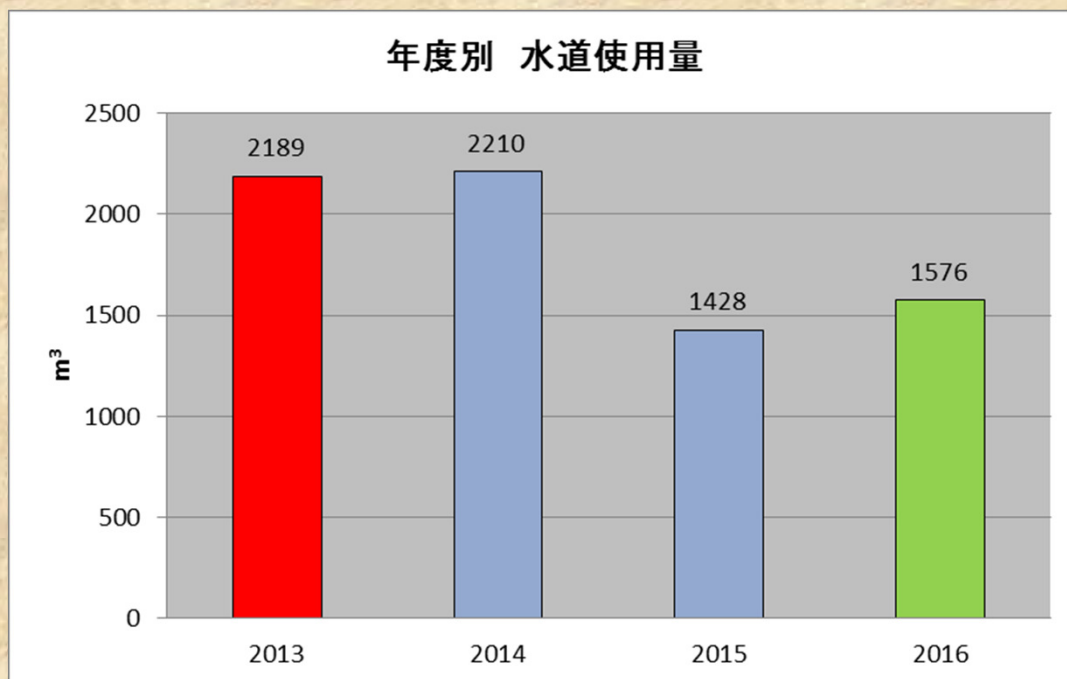
廃棄物は分別を徹底しております。



掲示により分別の啓蒙活動を行っております。

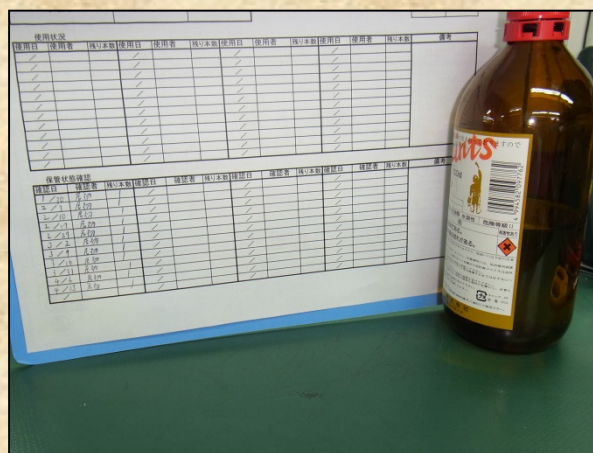
・可燃物のほとんどはシュレッダー紙等の紙ごみが占めておりました。

排水量推移



節水の意識が浸透してきており、
2016年は水の削減量はほぼ横ばいとなった。

化学物質管理



特品事業部及び冷熱システム事業部の製造において
PRTR法に関わる化学物質の使用はございません。
(洗剤、接着剤などの薬品類は含まれておりません)

極少量で使用頻度のほとんどない危険物質でも、
管理票にてチェックしております。
(対象:2016年度現在アセトンのみ)

特品事業部佐貫事業所及び冷熱システム事業部 環境活動

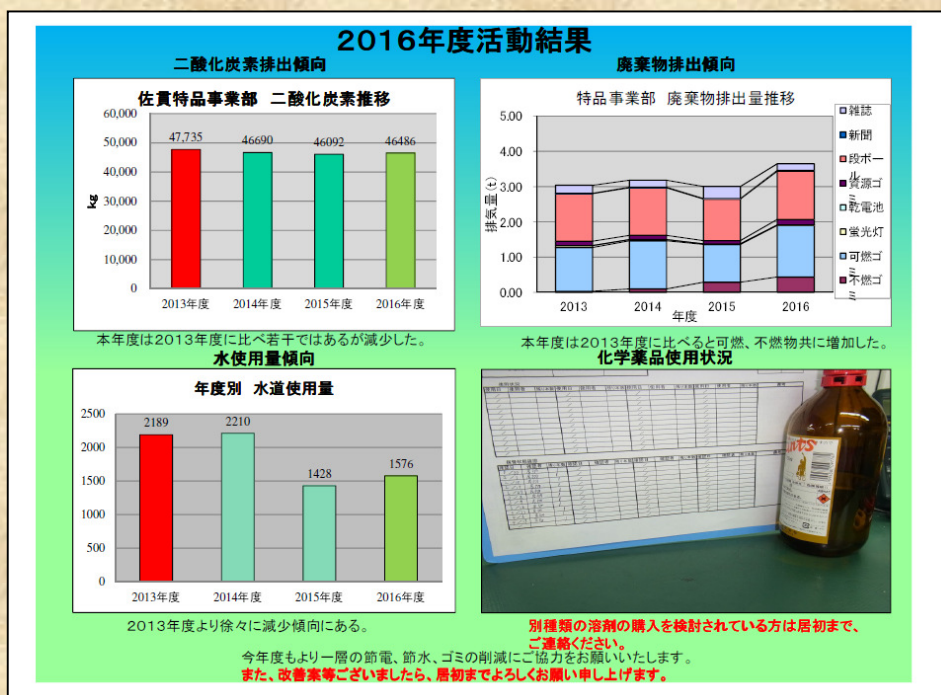
消防・消火訓練



環境教育



年に2回、全体の環境教育を行い、環境に対する意識付けを行っております。
また、万が一の災害に備え、地域住民の方に有害物質等の影響が出ないよう、緊急事態訓練を毎年行っております。
本年度は消防署よりは正はございませんでした。
地域住民の皆様より、佐貫事業所の環境に対する指摘は、過去3年間ありません。



環境活動の結果については環境教育の他に結果の掲示を行い、各従業員が確認出来るようにしております。

2017年度目標及び中期目標

取組項目	施策(16年)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CO2削減	不使用時、不要場所、昼休み時間の 消灯 、事務室空調温度設定 冷房28℃・暖房20℃ 例)特品18:00、部品17:30分一斉消灯	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり
電力削減		2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%
一般廃棄物	分別処理 徹底、特に紙の分別を行う。 生産数・人員あたりの数値も算出	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり
節水	洗面所、トイレ等に節水の 張り紙 を行う。	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり	2014～2016年度平均値比 0% 一人当たり
梱包材環境低負荷	梱包材 使用量削減 、社内輸送の 省力化 推進	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%
紙類使用削減	両面 使用、 縮小 使用、印刷プレビューで印刷ミス削減、情報交換の 電子化 、管理方法	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%	2014～2016年度平均値比 0%
金属廃棄物リサイクル	廃棄物製品の分解で有価物リサイクル化を高める。	(特品事)製品の集中解体処理を 2回 実施する。	(特品事)製品の集中解体処理を 2回 実施する。	(特品事)製品の集中解体処理を 2回 実施する。	(特品事)製品の集中解体処理を 2回 実施する。
グリーン・エコマークがついた事務用品使用推進	低負荷の事務用品があれば優先的に使用する	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
低環境負荷製品の設計	企画書、図面、カタログ資料、取説	低環境負荷製品2機種開発	低環境負荷製品2機種開発	低環境負荷製品2機種開発	低環境負荷製品2機種開発

※長期目標値に関しては今後の社会情勢や達成状況に応じ、見直しを行うこともございます。
二酸化炭素、廃棄物、排水量は一人当たりの量を目標とします。

代表者による全体評価と見直し

代表者による全体の評価と見直し			文書No	HTK-3940
見直し日時	2017年5月17日		場所	第3会議室
参加者	山田、生稲、石垣、石井、小泉、小野、升水、居初			
インプット情報	情報内容・資料等	代表者コメント		
①環境関連法規制等一覧表／遵守状況のチェック結果	2016年度5月代表者会議資料にて法規制遵守状況を確認	法規制遵守チェックシートに問題なきことを確認		
②環境目標の達成度	2016年度の環境活動計画結果にて、2017年3月現在までの実施状況を確認	今年は各項目で増えた項目、減った項目で、その増減の理由を明らかにすること		
③環境活動計画の実施状況	2016年度の環境活動計画結果にて、2017年3月現在までの実施状況を確認	今までやってきたこと以外のアイデアを全体から出してもらうようにすること。大きな変化があった時に何がかったのか解析を十分に行うこと		
④問題点の是正・予防処置の状況	2016年度の環境活動計画結果にて、2017年3月現在までの実施状況を確認	確認の結果問題なし		
⑤外部からの苦情の有無	2016年度の環境活動計画結果にて、2017年3月現在までの実施状況を確認	確認の結果問題なし		
⑥緊急事態の訓練結果	2016年度10月に消防訓練を実施	2016年代表者会議にて結果を確認		
⑦内部監査の実施、是正状況	2016年度2月に内部監査を実施	2016年度代表者会議にて結果を確認		
⑧経営状況の変更	変更無し	変更無し		
⑨その他	なし	なし		

変更の必要性の有無	①環境方針	代表者会議で確認の結果、変更の必要性なし
	②環境目標	内容の解析をもう少し踏み込んで行い、次の目標の設定を行う
	③環境活動計画	代表者会議で確認の結果、変更の必要性なし
	④環境経営システム	代表者会議で確認の結果、変更の必要性なし

代表者	環境管理責任者	報告 2017年5月17日
		確認 2017年5月17日

- ・年に1回の内部監査、年に2回の代表者会議を行い、
- ・環境活動の見直しを行っております。2016年度の内部監査において
- ・重大な指摘はありませんでした。
- ・近隣、住民からの苦情、クレームはございませんでした。
- ・監督官庁からの指摘事項もございませんでした。

特品事業部佐貫事業所までお越しの方へ



●JR佐貫町駅より徒歩約5分

環境管理責任者
生稲 佳弘
TEL:0439-66-1278
連絡先 ikuina@htkgp.co.jp

本レポートに関するお問い合わせ先

●林時計工業株式会社
〒293-0058 千葉県富津市佐貫482
特品事業部／佐貫事業所EMS事務局
担当 居初(いそめ)
TEL 0439-66-1278
FAX 0439-66-2023
E-MAIL: isome@htkgp.co.jp